

大鹿村中央構造線博物館たより95号



2017年4月発行

TEL/FAX:(0265)39-2205 E-MAIL:mtl-muse@osk.janis.or.jp

講演会「ジオパークってなんだろう？」開催

3月25日(日)、南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク専門員の藤井利衣子さんを講師にお迎えし、講演会「ジオパークってなんだろう？」を開催しました。

ジオパークとは、「大地の公園」を意味しますが、自然と人の関わりの場でもあります。地形や地質の見所を保護するだけでなく、教育・研究活動や地域振興活動の場でもあるそうです。例えば、お店で関連商品を販売すること、観光誘致、公民館での生涯学習等、地元の人々のさまざまな立場での活動がどれもジオパークの活動なのだということです。

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの取り組みについてもいくつかご紹介いただきました。中央構造線板山露頭では、地域住民が主体となって露頭の保全と整備をしています。高遠高校では、教育活動の一環として、生徒がガイド養成講座を受講し、実際にガイドとして活躍しています。上村の中郷流宮岩なかごうながれみやのいわ近くの喫茶店では、岩をモチーフにしたクッキーを販売しています。

最後に宣伝です。講師の藤井さん作の4コママンガ「マンガで学ぶ南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク」が冊子になりました。南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの概要と、各市町村別の見所が紹介されています。入手希望の方は、中央構造線博物館までどうぞお越しください(数に限りがあります)。(宮崎)



講演会「ジオパークってなんだろう？」



藤井さん作の4コママンガ

ジオパークとユネスコエコパークは何が違う？

大鹿村は全域が「南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク」の区域であると同時に「南アルプスユネスコエコパーク」の区域でもあります。ジオパークは「大地の遺産の保護と活用」、ユネスコエコパークは「生態系の保護と活用」が目的となる点で違いがありますが、ジオパークには、大地(ジオ)、生態系(エコ)、人間(ヒト)とは密接に関わっているという考え方が基底にありますので、重複する部分も多いと考えられます。

ジオパークには世界ジオパーク(ユネスコの事業)と日本ジオパーク(日本版のジオパーク)の2種類があります。「南アルプス(中央構造線)エリアジオパーク」は、長野県内の4市町村で構成されており、2008年に日本ジオパークに認定されました。一方、「南アルプスユネスコエコパーク」は、2014年にユネスコから登録承認された世界レベルのもので、長野県、静岡県、山梨県の3県10市町村で構成されています。(宮崎)

■■今後の博物館イベント予定■■ 大鹿村ジオツアー8/19~20に実施予定!